

# 第9回 WGMA GRAND MASTERS WORD CUP

スペイン バルセロナ大会

トレーナー活動報告書



期間：2018年6月18日～7月2日

報告者：河西紀秀

関係者各位

第9回 WGMA GRAND MASTERS WORD CUP

拝啓

厳しい残暑が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。遅くなりましたが、スペイン大会におけるトレーナー活動をご報告させていただきます。

大会期間中にトレーナー対応した選手数ですが、延べ153名（選手46名）でした。

特にテーピング対応した選手が多く、試合が進むにつれ、徐々に増えていきました。大半は大腿部、下腿部（全体の70%）であり、軟部組織（肉離れ）を痛めてテーピングを施した選手が多くいました。

試合後は積極的にアイシングやストレッチを実施するなど、コンディショニングに対する意識が高い選手が目立ちました。又、日常的に抱えている慢性障害に対しての傷害相談やトレーニング方法の相談も多く、アドバイスを求める選手も多くおりました。

今大会を通して1件、怪我の治療の為、日本に帰国する選手がおりましたが、全体を通して大きな怪我はなく、無事に大会が終えられたと思います。

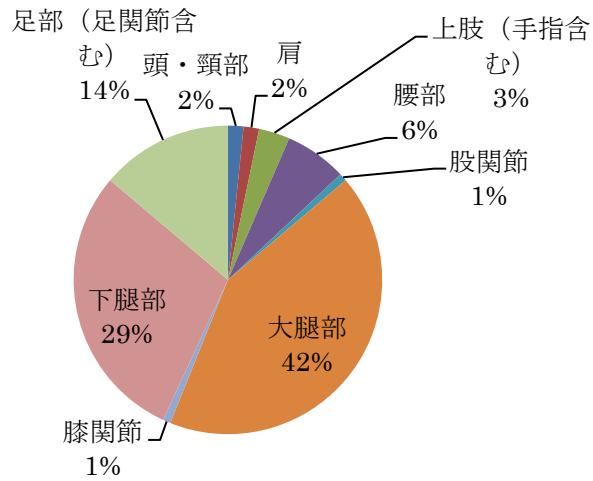
最後に大会前からお世話になった事務局の水谷様をはじめ、多くの関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

敬具

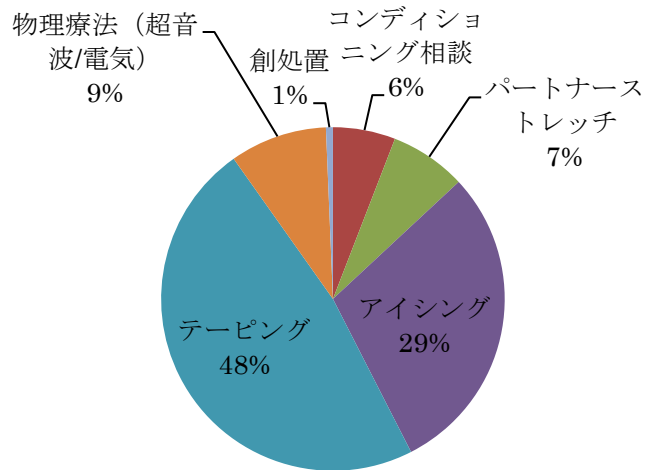
平成30年8月16日

アスレティックトレーナー 河西紀秀

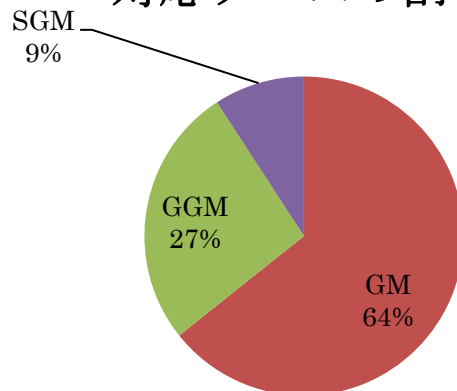
## 傷害部位



## 処置内容



## 対応チームの割合



軟部組織損傷



超音波治療器 (医療用)

ホテル内でのトリートメント



テーピング処置

